

議会だより

しろたか

議会の録画中継を配信中!
…町のホームページから

2019年4月26日発行

Vol.142

山形県白鷹町議会

3月定例会

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

「0歳児からの保育 はじまりました」 ひがしね保育園 すみれ組(0歳児)入園 18頁に関連記事

主な新規重点事業

まちづくりの未来へ、効果に期待 新年度予算審査	2p
ここが聞きたい 一般質問2人の議員が町政を問う	4p
シリーズいきいき健康アドバイザー	14p
	20p

づくりを

3月定例会

定例会は3月5日から15日までの11日間で開催され、●新年度当初予算 ●平成30年度補正予算6件 ●条例・規則改正36件 ●人事案件1件 ●選挙1件 ●工事請負契約の一部変更2件 ●請願1件について審議し、原案のとおり可決しました。一般質問は2議員が行い、町政全般について問いました。

雇用・産業 ～地域資源を活かす～

◆森林・林業再生事業 1092万円

森林・林業再生協議会が実施する境界明確化を促進するための支援。

◆買い物環境充実支援事業 65万円

移動販売支援や買い物ポイントサービスの本格実施。

◆地域連携DMO推進事業 756万円

やまがたアルカディア観光局が実施する、インバウンドや国内観光による地域経済活性化への取り組みに対し支援する。



森林再生に向け、作業はつづく
(森林境界明確化)

地 域 ～住んで良かった～

◆町誕生65周年記念事業 153万円

記念式典、記念事業の実施。

◆まちづくり複合施設整備事業 . . . 10億5299万円

新庁舎開庁式・竣工式を開催する。施設の関連工事として、既存庁舎等の解体と外構工事を行う。

◆福祉灯油券交付事業 288万円

高齢者のみの非課税世帯等に、福祉灯油券を交付する。



防 災

～安全・安心～

◆消防団活動服更新事業 1000万円

消防団員の活動服を更新する。

◆防火水槽維持管理活動支援事業 105万円

自主防災組織が取り組む無蓋防火水槽の維持管理に対する支援。

新年度当初予算 可決

住んでみたいまち

主な新規重点事業

人口減少緊急対策

◆ふるさと移住応援プログラム（移住支援等）・・・・・・・・ 580万円

新規で、移住支援補助金、移住世帯食の支援事業を実施する。既存事業も継続実施し、移住定住の促進を図る。

◆住宅整備基本構想策定事業・・・・・・・・ 300万円

人口減少が進行する中、若者定住や勤労者支援等の住宅整備に向けた基本構想を策定する。

◆地域交流商業施設整備事業（構想策定）・・・・・・・・ 30万円

地域交流の拠点となる商業施設の整備に向け、整備構想を策定する。

[13頁に関連記事](#)



子育て・教育 ～未来を築く子どもたち～

◆子育て支援配信サービス事業・・ 26万円

予防接種のスケジュール管理や行政情報の取得等を行える、電子母子手帳アプリを導入する。

◆情報教育推進事業・・・・・・・・ 2529万円

小中学校のICT機器整備や、小学校におけるICTを活用したプログラミング授業への支援を行う。



すくすく育つ白鷹っ子



様々な課題の解決に向け、効果のある事業展開を。

効果に期待

新年度予算総額149億6347万円
(前年度比4.3%増)



子どもたちの笑顔がいっぱい！ (よつばこども園)

総括質疑 — 施政の方針を問う —

歳出効率化をどうしていくか

関千鶴子議員

消費税率引き上げの影響は

町 消費税率の引き上げによる影響は。歳出効率化をどのように進めていくのか。

町長 増税による消費の減退が懸念され、町内景況にも影響があると認識している。国策と連動し、増税の影響を緩和させたい。

町の事業を、委託や指定管理者の管理にすることにより、歳出の効率化を図っていく。

人口減少対策は

町長 最重要課題である人口減少への今後の対応は。

町長 平成29年に人口減少緊急対策プロジェクトチームを設置し、各施策を実施してきた。新年度も、住宅整備基本構想の策定など、人口減少対策を積極的に推進する。

将来負担をどうする

町 町の将来負担を、どう捉えているか

町長 起債（借金）は公債費（返済）として将来負担につながるが、本町は交付税措置のある有利な起債を有効活用している。

また、基金（貯金）の有効活用により、財政負担の軽減も図れるものと考えている。

除雪体制の検討を

町長 高齢者世帯等の雪下ろし支援について、除雪体制の検討も必要ではないか。

町長 除雪作業の担い手不足が課題となっている。ICT活用の可能性を踏まえつつ、民間活力の活用、官民連携の対応など、新たな仕組みづくりの検討が必要である。



※万円未満は端数を調整しています。



予算特別委員会

入 歳 (町の収入)

質 疑

税収の今後の動向は

〔小形委員〕町民税、固定資産税とも増と見込んでいるが、今後、消費税率引き上げも予定されている。今後の税収の動向は。

〔当局〕町民税、固定資産税は、平成30年度の収入見込みなどから、増と見込んでいる。消費税率が10月に改正予定だが、現在のような景気状況であれば、横ばいか若干の上昇が見込めると考えている。

森林環境譲与税とは

〔小形委員〕森林環境譲与税はどういった事業に使われるのか。

〔当局〕間伐、人材育成、木材利用の促進等が使途であり、本町では、地域林政アドバイザー事業等への充当を予定している。譲与額は段階的に引き上がる見込みであり、令和15年度に満額譲与になる予定。

空き家解体の固定資産税への影響は

〔奥山委員〕空き家を解体すれば税率が上がるが、税収はどうなるか。

〔当局〕空き家が撤去されれば、土地の固定資産税の軽減措置はなくなる。ただし、場所によって土地の評価額が異なり、税収の伸びにも大小があるため、全体として大きな税収には結びつかないと考えている。

出 歳 (町の支出)

質 疑

総務費

月1回の文書配付の効果は

〔笹原委員〕町内文書配付が月1回となったが、その効果は。情報が遅れるという課題はないか。

〔当局〕文書を配布していただく町内長、組長の負担が減った。配布回数が減ったことで、時期によってはタイムリーな情報が届けられない場合もあると認識

している。

協力隊の募集状況は

〔佐々木委員〕地域おこし協力隊の募集状況はどうなっているか。

〔当局〕平成30年度は5件募集し、3名の隊員が確定している。内容は、鷹山地区の農業支援「オリンピックハウストタウン国際交流関係」「図書館関連の活動」である。

協力隊の定住支援は

〔佐々木委員〕地域おこし協力隊の定住支援金の内容は。

〔当局〕協力隊員が、活動終了後に本町に引き続き定住する場合に支援する。1年目は50万円、2年目は30万円、3年目は20万円である。

難視聴地区への対応は

〔佐々木委員〕大瀬地区を対象に難視聴対策を行うとのことだが、今後、他の地区への対応予定はあるか。

〔当局〕地区とNHKの共同実施が要件であるが、NHKでは令和6年度と7年度に1地区ずつ予定している。他の地区から要望があれば、対応を検討する。

デマンドタクシーの工夫は

〔山田委員〕デマンドタクシーについて、どのような工夫を考えているか。

〔当局〕置賜定住自立圏の中で、市町間を越えた利用について検討する。実現すれば、公立置賜総合病院までの移動の利便性の向上も見込まれる。



新たに活動開始！
(地域おこし協力隊)

空き家への対応は

〔笹原委員〕 空き家への対応状況は、解体補助の通知方法は。

〔当局〕 平成30年度は「特定空き家等（※）」の認定まで行い、その所有者には、建物の状況等を通知し、改修等を進めるようお願いしている。通知書には、解体補助事業の案内を同封している。

〔※〕 特定空き家等…放置すれば保安上危険となるおそれがあり、法的措置の対象となる空き家。

町民一人あたりの負担額は

〔奥山委員〕 まちづくり複合施設整備に起債を使うが、起債は借金である。町民一人あたりはいくらになるか。また、完成後の施設の維持費はどうなるのか。

〔当局〕 起債額24億8千万円を人口約1万4千人で割ると、一人あたり約17万7千円くらいである。維持費については、中央公民館と分庁舎が本庁舎に統合されることにより、効率化が図られると考えて

いる。

民生費

母子手帳アプリとは

〔笹原委員〕 母子手帳アプリ導入の背景は。アプリの内容は。

〔当局〕 子育て世代の大多数はスマホを所持しており、アプリの利用により、情報を素早く確認できるようになる。また、予防接種管理もできるようになる。町からは健診や、子育て情報等を発信する。

どうする婚活支援

〔奥山委員〕 婚活サポート事業の拡充内容は。

〔当局〕 平成30年度は、町内飲食店から協力いただき、出会いの場を設けた。好評だったため、開催回数や店舗を増やし実施する。

通学路点検の状況は

〔笹原委員〕 通学路点検の状況は。夜間の点検も実施するのか。

〔当局〕 学校、地域、警察等の関係団体と一緒に、通学路点検、防犯点検を実施している。夜間についても、それぞれの担当部署で点検している。

衛生費

がん検診の考え方は

〔奥山委員〕 若い人が、がんになる事もある。がん検診の考え方は。

〔当局〕 国の指針に基づき、胃がん検診、乳がん検診は40歳以上とするなど、対象年齢を設定している。今後も、国の指針に基づき、受診体制を整備していく。

再生可能エネルギーの普及状況は

〔石川委員〕 太陽光発電など、再生可能エネルギー普及の状況は。

〔当局〕 平成30年度の見込みであるが、太陽光住宅用発電設備への補助が8件、木質バイオマスストーブ等への補助が6件である。

子どもの健康づくり健診の周知を

〔佐々木委員〕 子どもの健康づくり健診の受診率が、現状でおよそ50%。できるだけ受診してもらうよう周知を。

〔当局〕 対象となる小学5年生と中学2年生に案内を郵送している。また、学校保健委員会や保護者が集まる機会にも周知をする。



成長記録も家族みんなで共有
（母子手帳アプリ 紅ほっぺ）



子どもたちの安全はみんなで守る
（通学路点検）

歳出

（町の支出）

質疑

農林水産業費

境界明確化の実績は

〔小形委員〕 森林境界明確化の実績と今後の予定は。森林環境譲与税の活用方針は。

〔当局〕 平成26年度から実施し、合計237ヘクタールの実績。令和元年度からは、中山間地域で実施する。森林環境譲与税は、測量経費、地域林政アドバイザーの件費等に活用する。

森林整備の内容は

〔渡部委員〕 荒廃森林緊急整備事業の内容は。

〔当局〕 ふるさと森林公園内の雑木化した森林の抜き取りなどを行い、景観を整備する。

〔佐々木委員〕 動物が隠れにくいように森林を整備し、人と動物を分けるという有害鳥獣対策の要素もあるようだが、今後の方向性は。

〔当局〕 事業の効果等を見ながら、全町に広げていければと考えている。今後、検討する。

どうするイノシシ被害

〔奥山委員〕 イノシシには、なかなか罾の効果が出ないようだが。

〔当局〕 イノシシは警戒心が強く、短期的な罾の設置では捕獲が難しい。電気柵は適切に設置することで効果が出るため、設置について、

詳しく丁寧に説明していく。

狩猟免許取得補助は

〔奥山委員〕 狩猟免許の新規取得や鉄砲所持許可の費用補助は、何人を見込んでいるか。若い人はいるのか。

〔当局〕 5人分を計上している。65歳未満を対象としているが、若い人に率先して取得してもらいたい。

中山間地域の対応は

〔小口委員〕 中山間地域等直接支払交付金事業の第4期の現状と、第5期に対する考えは。

〔当局〕 令和元年度が第4期の最終だが、高齢化により、2地区で取り組みが厳しい状況である。元年度には、新規拡充事業はないが、第5期も引き続き取り組んでいきたい。

経営状況の判断は

どうしても維持困難な場合は、本当に必要な所を地区で話し合い、選定してもらいたい。

〔奥山委員〕 農業次世代人材投資事業は、適切な農業経営を行っていない場合は資金停止となるが、その判断は誰がするのか。

〔当局〕 町、JA、県、共済組合等でチームを作り、就農者が定着できるような支援していく。経営についても、この組織が中心となり判断していく。

商工費

御用聞き事業廃止で困る人もいるのでは

〔佐々木委員〕 買い物困難者対策として実施した御用聞き事業が廃止となるが、困る人もい



在りし日の釜の越ザクラ

るのではないか。

〔当局〕 実証実験から利用者が多くが、家族の手助け、介護保険サービス、デマンドタクシー等の併用により買物ができるため、現段階では、御用聞きニーズは低いと判断した。今後は、移動販売に集約していく。

釜の越ザクラの今後は

〔佐々木委員〕 釜の越ザクラの移植について説明を。また、今後の支援はどうしていくのか。

〔当局〕 釜の越ザクラは枯れてしまったが、枝



優美な姿を再び(分身桜)

折れを挿し木したもの（分身桜）が順調に育つため、公園内に移植する。今後は、木の状況を見ながら、保存会とも相談しながら対応していく。

空き家バンクの状況は

〔笹原委員〕 空き家バンクの登録状況は。町外、県外からの問い合わせもあるのか。

〔当局〕 登録数は、平成29年度15件、30年度18件であり、若干増加している。空き家バンクを利用し、移住につながった事例は何件もある。

産業フェア、秋開催の効果は

【笹原委員】産業フェア

は、夏から秋の開催に移った。効果、課題は。

【当局】白鷹町の産業だけでなく、秋の味覚を知ってもらう良い機会となった。行列になるイベントもあり、実施方法や開催時間などが検討課題である。

地域連携DMOとは

【渡部委員】地域連携DMO

◀町の産業も味覚も、まるとPR（産業フェア）



DMOが実施する観光地域づくりとは。

【当局】地域連携DMO推進事業は、長井市、南陽市、飯豊町、白鷹町の2市2町で取り組む事業である。広域で連携しながら、旅行商品を造成し、誘客を増加させ、地域活性化を進めていく。

DMOと観光協会の関係は

【関委員】地域連携DMOと町観光協会の関わりは。

【当局】DMOは、旅行業2種を取得し、国内向けの旅行商品の販売や、インバウンドも含めた誘客を行う。観光協会は、観光4シーズンのイベントなど、これまでの事業を継続し取り組んでいく。

農業遺産、国・県等との連携は

【今野委員】紅花が日本

農業遺産に認定された。国、県、関連市町との連携が必要では。

【当局】広域の視点、インバウンドの視点が重要になってくる。県では世界農業遺産を目指すという話もあり、当町も支援していく必要があると考えている。

どうする伝統文化の継承

【奥山委員】深山和紙振興研究センター事業費が前年度より増の理由は。また、後継者の確

保をどうしていくか。

【当局】老朽化した和紙の原料を砕く機械を更新するため、予算が増加。後継者は、町内だけで探すのは難しく、全国的に募集する必要もあるのではないかと考えている。

土木費

住宅整備基本構想策定の経緯は

【佐々木委員】住宅整備

基本構想策定に至った経緯は。基本構想によつて住宅施策も変わるのか。

【当局】検討の結果、若者定住の住宅整備がさらに必要となり、今後の住宅施策の基本構想を策定することになった。常に時代の流れやニーズを捉えながら、定住につながる環境づくりをしていく。

教育費

プログラミング教育サポート事業とは

【笹原委員】プログラミング教育サポート事業の内容は。

【当局】ICT支援員を派遣し、教員に対し、プログラミング教育の実践の指導、研修等を行う。

【笹原委員】プログラミング教育が必要になった理由は。

【当局】「論理的に考える力を伸ばす」「コンピュータを上手に使えるようにする」



起源は約400年前とされる深山和紙。伝統が承継されるように

るようにする」「教科の学習内容をより確かに身に付けさせる」などが主な目的である。

部活動指導員配置事業の効果は

【笹原委員】平成30年度から部活動指導員を配置しているが、その効果は。

【当局】指導員は、8つの部活動を担当している。指導員の部活動対応により、教員は、学習指導や生徒指導により時間を使うことができたようになった。

コーディネーター増員の理由は

ながると考えている。

〔笹原委員〕 地域学校協働本部事業で、学校支援ボランティアの取りまとめをするコーディネーターを増員する理由は、

〔当局〕 中学校1校に1人のみの配置のため、他の学校の活動内容が見えない中でボランティアの采配をしなければならなかった。大変であるため、増員する。

働き方改革の推進を

〔奥山委員〕 教員の働き方改革が進めば、児童生徒への対応も、さらに充実するのでは。

〔当局〕 教育委員会の大きな役割の一つは、教育環境を整備することである。多忙化を少しでも解消すること、児童生徒とさらに向き合うことができるようになり、不登校、不適応児童生徒の改善につ

消防費

消防団員活動服の更新は

〔佐々木委員〕 前は2力年で整備した。今回、全員の活動服を一齐更新することにした理由は、

〔当局〕 令和元年度は町誕生65周年の記念の年でもあり、また、消防団員の活動の推進、士気の高揚に資するため、一斉に更新する。

防火水槽管理への支援とは

〔佐々木委員〕 防火水槽維持管理活動支援事業の内容は、

〔当局〕 無蓋の防火水槽は町内に105カ所あり、地域や自主防災組織で管理してもらっている。1カ所1万円を上限に支援する。

特別会計

国民健康保険

納付金が増えた要因は

〔奥山委員〕 平成30年度と比較し、国民健康保険事業費納付金が増額となった要因は、

〔当局〕 納付金は、国のガイドラインに基づき県が算出するが、平成30年度は、70歳以上の被保険者が過小に算定されてしまった。令和元年度は、算定方法が変更され、その結果、白鷹町の納付金は増額となった。

下水道

接続工事は何年計画か

〔佐々木委員〕 浅立農集排施設を公共下水道へ接続する工事は、何年間の計画か。

〔当局〕 令和元年度は、工事の実施設計を行う。工事は、令和2年から3年間で実施する予定である。

処理能力は十分か

〔佐々木委員〕 公共下水道に接続されれば、浄化管理センターで処理となるが、処理能力は十分なのか。

〔当局〕 浄化管理センターは、浅立分だけでなく、西高玉の農集排施設の汚水も処理できる能力がある。処理能力は十分である。

介護保険

認知症支援、予算増の理由は

〔奥山委員〕 認知症初期集中支援推進事業の予算を増額した理由は、

〔当局〕 医療機関に委託している事業で、医師や様々な専門職が対象者を訪問し、認知症の啓発、早期診断等を行っている。認知症は早期診断、早期発見が大事であり、さらに啓発していく必要があるため、予算を増やし対応していく。

賛成討論

一般会計予算に対する
小口 尚司 議員

公債費等の増に加え、引き続き、まちづくり複合施設整備等の歳出も見込まれることから、より一層、計画的な財政運営が必要となる。

子育て・教育支援の充実や買い物困難地域の解消、地域連携DMOの取り組みや移住定住対策など、各施策に大いに期待する。

令和元年は、町誕生65周年にあたる節目の年である。確実な事業遂行により、町民福祉の増進につながるよう期待し、賛成討論とする。

賛成議員…渡部・笹原・佐々木・小口・小形・田中・山田・奥山・石川・佐藤・菅原・関・今野各議員

※反対討論はありませんでした。



補正
予算

県と協力 災害対策

質 疑

◆川戸・金剛地区ため池等整備事業

老朽化のため、ため池本体からの漏水が著しく、決壊の恐れもあり、災害防止のため、早急に整備するもの。県事業により実施し、町は負担金を支払う。令和4年度の事業完了を目指す。

川戸・金剛地区ため池の整備状況は
委員 川戸・金剛地区ため池等整備事業の減額要因は。
当局 町の平成30年度当初予算の編成後に、国の29年度補正予算が成立した。そのため、30年度予算で実施する予定だった、ため池までの工事用道路の整備

などが、29年度予算で前倒しで実施されることとなった。その分を減額調整するもの。
委員 整備の状況は。
当局 ため池本体の改修までは至っていないが、工事は順調に進んでいる。



いつもは穏やかだが…



整備された工事用道路



下流域の不安解消へ、十分な安全対策を。

一般会計補正の主なもの

民間保育所支援事業費補助金 △108万円
 ひがしね保育園整備支援について、事業実績見込み等による調整。

川戸・金剛地区ため池等整備事業 △994万円
 事業費の確定による調整。

担い手確保・経営強化支援事業 1705万円
 経営発展に必要な農業用機械等の導入を支援する。【H30国補正分】

地籍調査事業費 2116万円
 国の補正予算の配分を受け、令和元年度実施予定分を前倒しで実施する。【H30国補正分】

プレミアム付商品券事業 124万円
 プレミアム付商品券事業の事務費。【H30国補正分】

移住定住支援交付金 90万円
 執行状況及び事業実績見込み等による追加計上。

下水道特別会計繰出金 5900万円
 鮎貝中継ポンプ場移設工事等について、一般会計からの繰出金により対応するもの。県からの補償費は、令和元年度に歳入となる。
 など

◎財源は国・県支出金、繰越金などで対応します。

平成30年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		3491万円	93億1965万円
特別会計	下水道	△354万円	6億1852万円
	国民健康保険	△4528万円	15億6948万円
	農業集落排水	△2051万円	1億4987万円
	介護保険	△2301万円	17億705万円
	後期高齢者医療	134万円	1億4957万円

※万円未満は端数を調整しています。

条例

- 白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
議員報酬の額の改正及び農業委員会委員等の能率給の設定を行うもの。
- 白鷹町議会政務活動費の交付に関する条例の廃止
平成31年4月から、政務活動費は交付しないこととするもの。
- 白鷹町議会委員会条例の一部改正
議員定数の削減に伴い、常任委員会の委員定数の変更等を行うもの。
- 白鷹町教育施設使用条例の一部改正
中央公民館の改築及び消費税率の改定に伴い、教育施設の使用料を改定するもの。
- 白鷹町工場立地法地域準則条例の設定
工場の緑地等の面積率について、町の実情に応じた面積率を定めるもの。
- 消費税率の改定に伴う関連条例の一部改正
使用料等を規定する22の条例について改正するもの。

ほか7件

契約

- 白鷹町まちづくり複合施設整備工事請負契約の一部変更
(木工事の追加、防犯カメラ追加工事等)
変更前 26億277万6240円
変更後 26億9334万5040円
- 鮎貝第一污水幹線更新工事請負契約の一部変更
(管の強度を上げるための材料の変更等)
変更前 8964万円
変更後 9801万9720円



人事

- 白鷹町教育委員会教育長
白鷹町大字鮎貝 7142 番地
沼澤 政幸 氏

任期満了に伴い、引き続き任命。

請願

- ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書について

採 択

請願者 一般社団法人山形県ハイヤー協会
会長 石川 康夫
全国自動車交通労働組合連合会
山形地方支部
執行委員長 遠藤 栄二

意見書の内容

- ・ライドシェアは、安全・安心に懸念のある業務形態であり、容認しないこと。
- ・地域において大きな役割を担うタクシーや公共交通の維持・発展に向けた、総合的な諸施策を講じること。

提出先 内閣総理大臣ほか

表彰



山形県町村議会議長会
表 彰

菅原 隆男 議員



置賜地方町村議会議長会
自治功労者表彰

佐藤 京一 議員

全体事業費 約35億9千万円に

3月5日まちづくり複合施設等整備特別委員会が開催され、施設整備の取り組み状況について説明を受けた。また、3月12日の本会議において、中間報告を行った。

増工となる工事の内容、金額等について説明があった。

増工内容

木工事・基礎コンクリート・防犯カメラ追加工事・公衆WiFiファイ配線工事

増工金額

約9057万円

全体事業費

約35億9000万円



いよいよ完成

質疑

今後の増工等は

〔委員〕 外構工事で想定外の事案が出てくることを除き、今後、変更や増工等はないのか。

〔当局〕 建物は完成するため、建物部分の金額は整理した。外構工事は令和元年度実施であり、想定外の事案が出れば、その中の判断となる。労務単価も上がっており、支出が増える可能性もなくはないと認識しているが、現時点では、この金額で取り組みたい。

最終完成に向け、外構工事もしっかりと。

今後も注視していく

まちづくり複合施設等整備特別委員会・中間報告

◇これまでの経過◇

◆平成27年5月に特別委員会を設置。まちづくり複合施設等整備について、先進地視察、調査、研究等を行った。

◆開催状況

H27年	委員会	7回
H28年	委員会	7回
H29年	視察研修委員会	1回
H30年	委員会	6回
H31年	委員会	5回



H28鶴岡市視察

◇まとめ◇

近年最大の事業であり、町民の関心は高い。人口減少の中、将来負担が少なく、使い勝手のよい施設にしなければならぬ。施設完成後も、旧庁舎及び中央公民館の解体工事、駐車場等の外構工事が予定されている。新荒砥橋の架け替え等も進んでおり、人や車の流れも変わることを予想され、まちづくりが大きく変動すると思われる。第6次白鷹町総合計画の策定等も見据え、今後の展開に議会としても注視するものである。

3月22日第3回臨時議会

◎平成30年度一般会計補正

地域交流商業施設整備工事設計監理等委託
……1200万円

地域交流商業施設整備工事……………1億円

事業概要

鮎貝区からの要望を踏まえ、地域づくりの活性化や地域課題の解消等を目的に、四季の郷周辺に地域交流商業施設を整備する。国の平成30年度補正の地方創生拠点整備交付金に採択されたため、予算化するもの。令和2年3月までに完成する予定。

1月31日第1回臨時議会

◎白鷹町役場庁舎等解体工事請負契約の締結

契約の方法 随意契約

契約金額 3億5640万円

契約の相手方 那須・鈴木特定建設工事共同企業体

◎町立小中学校普通・特別教室冷房設備

整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札

契約金額 1億3284万円

契約の相手方 共栄建運株式会社

その他

◎白鷹町まちづくり複合施設什器類の取得

◎町立小中学校電源設備整備工事請負契約の締結

◎消防団活動服の取得

について可決した。

「共創のまちづくり」、これからの考えは

町長 安心して暮らせる地域づくりと、広域連携による地域活性化へ



管原隆男議員

これまでの成果、課題は

問 第5次総合計画の成果と、今後の課題は。

町長

「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」「防災」の4つの柱をベースに、事業を展開してきた。高校生までの医療費無料化、紅花を軸にした地域活性化、コミュニティセンターによる活力ある地域づくり、豪雨災害の復旧など、各分野に一定の効果があつたと考えている。

一方、荒砥高校存続への取り組み、山形鉄道の経営支援、定住環境の整備など、課題も残っている。人口減少のなか、複雑かつ困難な問題でもあると認識している。

これからのまちづくりは

問 「共創のまちづくり」の理念をふまえ、将来に向けたまちづくりの考えを伺う。

町長

引き続き「共創のまちづくり」の理念を継承し、人と人がつながり、安心して住み続けることができる地域づくりを進める。

また、今後は、関係市町との広域的な連携も必要不可欠である。互いの独自性を尊重し、役割分担しながら、地域活性化に取り組んでいく。

荒砥橋への期待は

問 荒砥橋の改築によって、町も変わるという期待もある。改築に伴い、どのようなまちづくりをしていくか。

町長

以前は、最上川を挟んだ複眼都市としてまちづくりを進めてきた。現状を踏まえ、今後は一体的な整備を進めていかなければならない。荒砥橋改築は大きなチャンスであり、白鷹町は一本であるとして取り組んでいく。

木材の活用は

問 緑の循環システムを構築し、積極的に町産材を活用してきた。今後の木材の活用は。

町長

森林環境譲与税は、公共施設等の改築の際の木造化を促進するねらいもあり、山林のない自治体にも交付される。おきたま木材乾燥センターには、日本農林規格を取得していただき、その品質の高い木材が他市町村でも使ってもら

えるよう、積極的に働きかけをしていきたい。

今後の財政運営は

問 今後のまちづくりにおける財政運営の基本的な考え方は。

町長

大規模事業により、起債が増えている。有利な財源を導入し、基金の造成や税収増にも努め、町民ニーズに応えられる持続可能なまちづくりを進めていく。



町一体の発展を



第5次総合計画の検証をしっかりと。

相談への情報共有は

町長 関係機関と情報共有して支援に取り組む

◆いじめや虐待から
子どもを守るには

情報共有と体制は

問

各課の相談情報
を共有しての
解決に向けた体制づく
りは。

町長

児童虐待対応
の相談窓口は健
康福祉課。それ以外の
課で受けた相談に虐待
を疑う事案があれば、
速やかに情報共有して
いる。児童虐待の相談
や通告があった場合は、
県から示されたマニユ
アルに従い対応する。

子育ても気軽に相談

問

保護者が気軽
に相談できる体
制づくりと、子育てに
関する勉強会の開催も
必要ではないか。

町長

育児に関する
悩みに円滑に対
応するため、プライバ
シーに配慮した相談室
を設置し、気軽に相談
できる体制をとってい
る。
また、妊婦や家族を
対象に、妊娠・出産・
子育ての知識の習得や
仲間づくりを目的とし
たマタニティ・クラス
を開催。離乳食教室等



菅原俊一議員

も開催し、情報提供し
ている。

不登校・別室登校は

問

不登校や別室
登校の状況と推
移は。

教育長

不登校傾
向や別室登
校の児童生徒が多いこ
とが、本町教育の大き
な課題である。不登校
生徒は3年間ほぼ同数。
別室登校は中学校で増
加している。

支援体制は万全か

問

スクールカウ
ンセラー、教育
相談員、学校生活支援
員の活動状況は。

教育長

スクール
カウンセ
ラー2人を中学校に派
遣。不登校・不対応の
改善に向けた取り組み
のほか、人間関係や学
業に関する悩みなどに

対応している。

教育相談員は現在2
人。中学校で増加する
別室登校生徒に対し指
導している。

生活支援員は、小中
合わせて10人。支援が
必要な児童生徒への指
導をきめ細やかに行っ
ている。

いじめの実態は

問

いじめの実態
はどのような現
状か。

教育長

平成29年
3月に国の
方針が改訂され、「心身
の苦痛を感じていれば
いじめと認知する」こ
とになったため、今年
度の認知件数が大幅に
増えた。
いじめの発見は、学
校のアンケートからの
認知が多く、本人から
の訴えもきつかけとな
る。

教育相談定例会開催
と対策は

問

教育相談定例
会とは。

教育次長

担当教員、
教育相談員、
スクールソーシャル
ワーク・コーディネー
ター等で月1回開催。
情報共有し、対応して
いる。

問

子どもたちに
会えているか。

教育次長

週1〜2
回家庭訪問
し、ほとんどの児童生
徒と会えている。中
には拒否するケースもあ
り、継続的な取り組み
を行っている。



生き生きと学校生活を
送れるよう支援を。

総務厚生常任委員会

これからのまちづくりに向けて

3月7日に委員会が開催され、第6次白鷹町総合計画基本構想（案）について説明を受けた。

町民と一緒に構想策定

【経過】

平成29年度にアンケートを実施し、30年度はまちづくり町民会議を5回開催した。幅広い層からの意見を反映し、基本構想（案）をまとめた。

質疑

「しごと」づくりと企業誘致

委員 目標に「しごと」づくりがある。雇用の確保策として企業誘致が考えられるが、誘致による地元企業の人手不足という懸念もある。考えは。

【当局】 人手不足の状況で、直ちに企業誘致を進めるのは、課題があると認識している。時代の流れによっては、誘致も必要となる可能性はあるが、今取り組みなければならぬ事は、企業が希望する労働力の充足である。



まちづくり町民会議
いろいろな人が集まって

基本構想（案）の概要

計画期間

令和2年度～令和11年度
（10年間）

まちづくりの理念

「共創のまちづくり」

将来像

人・地域がつながり 輝き続ける
潤いのまち

4つの目標と施策の大綱

1. 「まち」づくり
 - ・豊富な資源の管理と有効活用
 - ・持続可能な循環資源の利用
 - ・安心して暮らせるまちづくり
 - ・雪に強く住み続けられる環境づくり
2. 「ひと」づくり
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・次世代の人材（財）育成
 - ・文化を核として地域活性化
 - ・新たな人の流れの形成
3. 「しごと」づくり
 - ・白鷹らしい産業の振興
 - ・生産性向上に向けた環境整備
 - ・稼げる産業の振興
4. 「連携する（つなげる）」まちづくり
 - ・「まち」「ひと」「しごと」をつなぐ取り組み



将来を見据え、実効性のある計画に。

いよいよ事業実施へ

置賜定住自立圏共生ビジョン（案）について説明を受けた。

具体的取組が示された

置賜管内の各分野の関係者が検討を重ね、「定住自立圏共生ビジョン（案）」がまとまった。

【ビジョンの目的】

置賜管内3市5町が、連携して推進する具体的な取り組み内容を示す。

【期間】

令和元年度から5年度までの5年間

【主な取組】

- ①生活機能の強化
 - ・夜間・休日の診療体制の充実
 - ・病児保育事業の実施
 - ・白鷹高等専修学校教育充実支援

その他

- 老人福祉施設整備支援事業
- 第2次白鷹町健康増進計画の中間見直し（案）
- 幼児教育無償化の概要について説明があった。



連携によるメリツトを生かして。

- ②ネットワークの強化
 - ・フラワー長井線の利用拡大
 - ・広域的な公共交通網の整備に向けた検討
 - ・道路整備の推進
- ③圏域マネジメント能力の強化
 - ・地方創生に向けた人材育成

期待が膨らむ新図書館、新中央公民館

3月8日に委員会が開催され、改築後の図書館・中央公民館の運営等について説明を受けた。

3年度から指定管理へ

【運営方式】

開館当初は、直営と業務委託により運営。令和3年度から指定管理に移行する予定。

【開館予定日】

中央公民館…5月7日
図書館…6月1日

質疑

【主な変更点】

- ・図書館と中央公民館の業務を、一体的に行う。
- ・年間の開館日が多くなる。
- ・図書館に書籍、文具等の販売コーナーを設置する。
- ・図書検索、インターネット用のタブレットを設置する。
- ・図書館システムを更新し、合せて読書通帳システムを導入する。

指定管理のメリットは

【委員】 指定管理にするメリットは何か。より多くの事業が実施されるという見通しか。

【当局】

現在は臨時職員のみ配置であり、決定権がなく、独自事業に取り組むのは難しい状況にある。指定管理に移行することで、独自性を持つて判断することが可能となり、事業を進めやすくなると考えている。

◆スケジュール◆

年度	内容
令和元年度	R1.5.7 中央公民館開館 R1.6.1 図書館開館（予定） R2.1～ 新図書館システム導入 読書通帳システム導入
2年度	指定管理者決定
3年度～	指定管理者による運営に移行



どんな本が入るかな
（新図書館）



新たな視点で、町民に喜ばれる事業展開を。

どうなる大平橋

大平橋（吊り橋）の今後の方向性について説明を受けた。

太平橋、解体の方向へ

【経過】

『おしん』のロケ地にもなった大平橋（吊り橋）は、老朽化により、平成25年から通行止めとなっている。橋梁調査や補修・解体費用の把握を行い、朝日町と今後の対応について協議を続けてきた。



老朽化で通行止め

【検討結果・方向性】

- ・新大平橋の完成により、町道としての役割を終えている。
- ・観光面からも、費用対効果を踏まえ、取り壊しはやむを得ない。
- ・周辺住民の理解を得ながら、解体の方向で進めていく。



丁寧に説明し、理解を得られるよう対応を。

- その他
- 都市計画マスタープラン策定状況
 - 鮎貝中継ポンプ場移設の状況
 - 小中学校冷房設備整事業の状況
- について説明があった。

議会だよりアンケートへのご協力 ありがとうございました。

貴重なご意見やご感想を参考に、今後とも、より身近な議会となりますよう努めてまいります。

アンケート集計結果

◆回答数 44通

◆性別 男性29人・女性15人

◆年代	10代：0人	20代：1人	30代：0人
	40代：0人	50代：8人	60代：9人
	70代：20人	80代以上：6人	

◆質問 ・毎号みていただいていますか

見ている	40
時々見ている	2
見ていない	2

・見やすい、読みやすいと思う紙面は（複数回答）

写真が良い	22	色使いが良い	5
見出しで内容がわかる	13	議会のことがわかる	20
文章がわかりやすい	10		

・見にくい、読みにくいと思う紙面は（複数回答）

言葉が専門的	15	色が多く目が疲れる	22
文章が長い	4	内容が面白くない	13
文章がわかりづらい	13		

主なご意見・ご感想

- ・文章がわかりづらいところがある。
- ・全体的にアンバランス。写真の大きさを一定にする。
- ・重要ポイントを引き出し、町民に分かりやすく記載するよう。
- ・色の使い過ぎではないか。

- ・字が大きく、老年にも見やすい。
- ・いきいきした写真がステキです。
- ・荒砥高校生、若者の声をとり上げたことを評価したい。
- ・いきいき健康アドバイスを楽しみにしています。



たんぽぽ組（1歳児）

4月6日、ひがしね保育園の入園式が行われました。ひがしね保育園では、今年度から0歳児と1歳児の保育がスタート。0歳児と1歳児を含め、合計29人の子どもたちが入園しました。家族の愛情、先生方の愛情、そして地域の愛情をたくさん受けながら、すくすく元気に育つことを願います。

ひがしね保育園

元気に入園！

表紙

平成30年度政務活動費

全議員の使い道を公開



町のホームページで、各議員の収支報告書と領収書を公開しています。

各議員から提出された使途報告書に基づき公開します。

経 費	内 容
調査研究研修費	議員が行う調査研究に関する経費。議員が開催する研修会又は団体が開催する研修会へ参加するために要する経費。
資料購入作成費	議員が行う活動に必要な図書購入や作成に関する経費。
広報広聴費	議員が行う活動の報告又は広報に関する経費。
通信運搬事務費	議員が行う活動に必要な事務機器又は事務用品の購入並びに借上げなどの経費。
その他の経費	議員が行う活動に必要で、各項に規定する経費以外の経費。

議 員 名	調査研究研修費 (例：セミナー受講料・研修旅費)	資料購入作成費 (例：新聞・地方議会人購読料、書籍)	広報広聴費 (例：議会報告印刷代)	通信運搬事務費 (例 プロバイダー接続 1/2)	その他の 経費	計 (うち政務活動費)
遠藤 幸一		69,069		7,380		76,449 (60,000)
渡部 善美		62,550				62,550 (60,000)
笹原 俊一		69,468	9,800			79,268 (60,000)
佐々木誠司	41,800	77,121				118,921 (60,000)
小口 尚司	40,700	111,210				151,910 (60,000)
小形 輝雄	40,700	67,115				107,815 (60,000)
田中 孝	31,800	45,400				77,200 (60,000)
山田 仁	40,700	13,924	76,680			131,304 (60,000)
奥山 勝吉	41,800	29,858				71,658 (60,000)
石川 重二		86,868				86,868 (60,000)
佐藤 京一	40,700	45,981		27,750		114,431 (60,000)
菅原 隆男	40,700	52,754				93,454 (60,000)
関 千鶴子		72,940				72,940 (60,000)
今野 正明		98,064	70,200			168,264 (60,000)

◎政務活動費は、60,000円（月額5,000円）が交付されます。

単位：円

◎政務活動費は、平成31年4月から廃止されています。

頑張り過ぎないで
ください!



渡部 毅志 先生

いきいき健康アドバイス



みんなを元気に!

… 覚えて損はない、「剣状突起」 …

あおば接骨院の渡部毅志先生に、まだまだ寒さの残る3月お話を伺いました。

開業のきっかけは

仙台にある接骨院の学校を卒業後、東京で就職し、整形外科や接骨院で、豊富な現場の知識と技術を習得しました。

その後帰郷。3代目「渡部接骨院」の跡継ぎでしたが、所属する接骨師会と施術のやり方の違いから「あおば接骨院」として開業。13年になります。

あおば接骨院の渡部毅志先生に、まだまだ寒さの残る3月お話を伺いました。

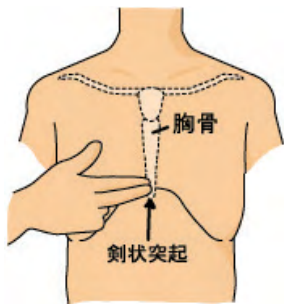
主な施術は

経路・経穴療法で、俗にいうツボです。例えば急性腰痛、ぎっくり腰などは、遠隔部の首や背中のツボを押します。激痛の患部に触れず腰痛を緩和します。

その他、多くの症状の改善に効果がある施術方法です。

万能のツボは

剣状突起の先端を押すと痛いところがあり、指3本で5分くらいマッサージすることで、首、肩、背骨、足の裏の痛みや疲れが軽減する場合があります。ぜひお試しください。



来院される年齢層は

お子様からご年配者まで幅広く、送迎や往診もしています。

最近増加している症状と予防法は

急激な温度差と季節の変わり目で変調をきたし、疲れやすく、筋肉も硬くなりがちです。ちよつとした動作で、首や肩を痛める人が多いようです。頸椎や腰椎は運動神経の出发点であり、手足にも悪影響がある場合があります。

筋肉を鍛えるより、まずは入念なストレッチや柔軟をお勧めしています。

筋力を鍛えるより、まずは入念なストレッチや柔軟をお勧めしています。

施術して気付くことは

痛みをこらえながら、日々の仕事や部活動に責任感を持つて頑張っておられます。しかし、無理をされ過ぎるよう

で、もう少し安静と充電が必要ではないかと思われま

町や議会へ望むこと

東京で10年以上暮らし、帰郷した白鷹町は、世界に名立たる名君、上杉鷹山公の偉大なる精神遺産が息づいているというこ

を、いろいろな患者さんや出会った方々を通して再確認し、本当に美しく住みよい故郷だと実感しました。医療費が高校生まで無料というのも素晴らしいです。

まだまだ問題も山積していると思います。が、卓越した智恵と慈悲の精神を根本に、より明るく、人にやさしい未来を構築していただきたいです。

編集後記



今年は積雪も少なく早い春の訪れとなりましたが、町中には雪の重みでつぶれ掛けた家屋や、アスファルトの老朽化で穴の開いた道路が目立つようになって感じます。

移住・定住の促進として、住居の新築を支援する予算を多く確保していますが、空き家の活用や危険空き家に対する取り組みも急がなくてはなりません。

まちづくり複合施設の総工費が約1割もの増額となりましたが、新しい時代の幕開けとともに、老朽化した道路や橋や水路などの、生活に直結した施設の修繕に対する手も衰えさせてはならないと考えます。

(佐々木)

広報委員

委員長 奥山 勝吉
副委員長・編集長 佐々木 誠司
委員 石川 重二
委員 笹原 俊一
委員 渡部 善美
印刷・長谷川印刷

